
ワークショップ

— 魅力的な環境技術指導者養成講座について —

広谷博史（大阪教育大学）

本年度の環境技術指導者養成講座の最後に当たり、この講座の意義を総括し、環境技術との関わり方について考える機会を設けます。

まずは、受講生のみなさんが何を学んだかということを明確にするため、講座の内容で印象に残ったことに関連することがら、または環境技術で関心を持っていることについて、約5分間の持ち時間でプレゼンテーションを行っていただきます。パワーポイントやホワイトボードを使用できますし、口頭の発表だけでもかまいません。重要なのは、持ち時間を活用して、思いを効果的に伝達することです。写真などを使用する場合には、早めに準備しておくことをお勧めします。

次に、小グループに分かれて、環境技術の今後についてディスカッションをしていただきます。ディスカッションの舵取り役であるファシリテーターを決めた上、全員でアイデアを出して、テーマとなる問題に対する実践的な解決策を探していただきます。

パワーポイントスライドは、次の点に注意して作ればいいでしょう。

- ・ 1分1枚の計算で
- ・ 大きな字で
- ・ 絵や写真を使って
- ・ 過度に装飾せず
- ・ さっさと結論を言う。

パワーポイントを使用できない場合には、大きな紙に描くか、ワープロの画面を写してもらっても大丈夫です。

発表の際には、次の点に注意すればいいでしょう。

- ・ 聴衆とアイコンタクトをとって
- ・ ゆっくりと明瞭に話す。

議論の舵取り役は、次のことをする必要があります。

- ・ 中立的な立場をとり
- ・ グループと議論の流れを観察し
- ・ アイデアと発言を引き出す。

受け身にならないように、積極的な参加をお願いします。